

平成29年度 第15回政策推進会議報告

日時 1月5日 9時30分～11時14分

場所 4-1会議室

出席者 23人

1 年未年始期間中の業務状況等について

危機管理安全局長から報告

- ・年未年始のひったくりや交通事故は無し。職員は12月31日まで青色パトロールを実施した。
- ・28年度はひったくりの実績が42件と史上最低であったが、29年度は年末時点で17件増の59件となっている。交通事故の死者数も、前年と比べて1名増えてしまった。そうしたことから、今年も色々な手法でひったくり減、交通事故による死亡事故の減に取り組んでいきたい。

企画財政局長から報告

- ・業務としての出勤はなし。
- ・30年度から後期まちづくり基本計画とプロジェクトの後半戦のスタートとなる。特にファミリー世帯の定住・転入促進が本市の最重要課題であるので、企画財政局としては、施策面・財政面からしっかりと下支えしていきたい。当面は30年度の当初予算が差し迫っているため、去年同様、先行会計繰出金を除いて収支均衡を保っていきたい。

ひと咲きまち咲き担当局長から報告

- ・業務としての出勤はなし。
- ・昨年を振り返ると、みんなの尼崎大学の開校や学びと育ちの研究所の設置、地域振興体制の抜本的な見直しの検討などを行った。また、お城を中心とした城内まちづくり・観光地域づくりに取り組み始めた。今年はそのをより一層確かなものにしていく。

総務局長から報告

- ・1月3日から業務システムのオープン化が始まっている。情報関係部局の職員が、12月29日に8名、30日に4名、1月2日に14名、3日に12名出勤した。29日に新住記のシステムにトラブルがあり徹夜作業となったが、朝方には解決したと聞いている。一部、最初のシステム起動が遅れているところがあるが、回線工事が1月29日までずれ込んでいることが原因となっている。また、コンビニ交付で不具合があったが、作業でクリアしているようだ。現時点ではシステムは正常どおり順調に進んでいる。次は3月19日から国保年金のシステムが動き出す。そちらのほうが今回よりも大きいシステムなので、引き続き頑張っていきたい。
- ・業務プロセス分析については、具体的に人数等が出てきているので今後も進めていきたい。
- ・会計年度任用職員も32年4月の導入に向けて大きな課題があるが、各局にもご協力いただきながら頑張っていきたい。

資産統括局長から報告

- ・庁舎管理課の警備室での業務として、12月29日から1月3日までの間で届け出の受付を143件、電話対応30件を行った。届け出の内訳は死亡75件、婚姻41件、出生9件、離婚7件、その他10件である。他には、納税課において年末の差し押さえ・取り立てで12月29日午後

から1名、建築課において大庄北中の武道場の新築工事の現場管理で29日に1名、小園小学校の児童ホーム新築工事の現場管理で29日に2名が出勤した。

- ・ 昨年の資産統括局は、様々な課題が形・数値として成果があがった年であった。具体的には武庫の複合施設や南北保健福祉センターの完成、市税収入率の引き続きの向上、東校跡地の住宅用地の売却、若葉小・啓明中の跡地活用の事業者募集、第一次ファシマネ計画の成案化、保全計画の策定などを行った。しかし、市民の痛みを伴うような市民合意を得ることの難しさを痛感した1年だった。今年も目の前の課題に取り組んでいくため、各局にはご協力をお願いしたい。

市民協働局長から報告

- ・ 1月4日から新住記システムが予定通り稼働している。年明けということもあり窓口が混雑しているが、特にシステム変更の影響はない。12月30日と1月2日に最終のテストを行い、各局にもご協力いただいた。
- ・ JR 尼崎サービスセンターについても、1月4日からアミング潮江プラストいきいき3階へ移転ということで年末年始に引っ越し作業を行い、大きな混乱はなく業務を開始している。
- ・ コールセンターの問い合わせ件数は12月29日から1月3日までで487件で、昨年度は555件だったので若干減っている。主な内容としては、年末年始の各課の業務の取扱い、ごみ収集に関することであった。
- ・ 私自身はあと3カ月で退職となるが、手を抜くことなく、しっかりと頑張っ次の人引き継げるようにしたい。

医務監から報告

- ・ 休日夜間急病診療所の12月29日から1月3日の受診件数は、内科が1,169件、耳鼻咽喉科が763件、眼科が422件、小児科が710件の合計3,064件で、昨年度より329件増であった。年末に寒くなったため年始にかけてインフルエンザの急増が懸念されたが、大幅に増えることはなかった。なお、27年に尼崎総合医療センターができてから2年間は年末年始も小児科の深夜帯を開けていたが、今年初めて閉じることとした。その結果としては、小児科電話相談を通じて県立尼崎病院に行った患者は6日間で5件だけで、深夜に診療所で不満をもらす方もいなかった。日中の受診を徹底してもらえるようになったようでありがたい。
- ・ 口腔衛生センター休日急病歯科診療では、12月29日から1月3日で113件の受診があり、昨年より12件減となった。後送病院への転送は1件であった。
- ・ 斎場では、12月29日から31日まで及び1月3日の4日間で、大人71件、死産児1件、胞衣等34件の火葬を行った。斎場の最大稼働能力が一日あたり大人18件に対し、12月30日、31日及び1月3日は最大の18件行った。
- ・ 生活衛生業務では、食品衛生監視員が卸売市場に12月29日、30日と各日1名ずつの計2名が出勤し、監視指導を行った。
- ・ 緊急的な業務として、12月29日に市内の高齢者施設から感染性胃腸炎の集団発生の届け出があり、職員1名が出勤し調査・指導等を行った。
- ・ また、12月30日に宝塚三田病院から医療保護入院に関する市長同意対応についての依頼があり、職員1名が出勤した。家族のいる可能性があったことから、地域保健担当係長に連絡を入れ、状況把握を行うとともに、手帳等のデータ確認を行なった。
- ・ いきいき健康プランで「地域保健活動の充実」を挙げたが、保健所内の一部の部署が南北保

健センターへ移転したことにより、今後どうやって職員同士が連携し地域保健活動を充実させていくか難しさを感じている。皆で連携をしっかりと取り合いながら進めていきたい。

健康福祉局長から報告

- ・例年、生活保護受給者の死亡や入院などで緊急の出勤があるが、今年はなかったため、2所化に伴う引っ越し作業に注力できた。年末は業者が荷物の搬入を行ったため出勤した職員は少なかったが、1月3日は関係課の職員がほぼ全員出勤し、4日のオープンに備えた。4日は特に大きな混乱はなかった。2所化はあくまでもハード整備が目的ではないので、市民に寄り添うという大きな目的を忘れずに、これから新しい体制で実績を出していきたい。
- ・31年度には子どもの育ちに係る支援センターが開所するので、自分の局の問題だと主体的に考え、今からしっかりと準備してほしいということを引き続き職員に伝えていきたい。

こども青少年本部事務局長から報告

- ・年末にめぐみ幼稚園の教諭が2歳の園児への傷害の容疑で逮捕されるという事態が生じた。当日の夕方から記者クラブで幼稚園の記者会見があり、秘書室長と保育部の課長が出勤した。12月31日に電話で正副議長他議会对応を行った。
- ・30年4月入所に向けた保育所の新規利用の申込み状況は現在約2,300人で、29年度向けの時と比較すると既に300人多い。児童ホームの申込みはまだ受付中だが、こちらも例年よりやや多い。このような状況の中で、国で検討されている保育無償化の動きが出てくるとさらに影響してくるのかなと危惧している。保育所や児童ホームにおける待機児童対策を今後ともいろいろと工夫し、職員一丸となって全力で取り組んでいきたい。

経済環境局長から報告

- ・地方卸売市場では12月30日まで通常業務を行い、今日が初売りだった。職員は1月4日から出勤している。
- ・年末年始のごみの収集については、12月29日、30日に特別体制で回収を行った。また、家庭ごみ案内ダイヤルが12月28日で休止となるため、29日、30日は業務課で電話対応を行い、2日間で103件の問い合わせがあった。昨年は227件であったため、半減した。クリーンセンターは12月30日まで通常勤務を行い、31日にも2名が出勤した。
- ・12月29日に野焼きに対する苦情が入り、環境保全課の2名で対応した。
- ・スリーシップ（リーダーシップ・パートナーシップ・フォロワーシップ）の励行について所属職員へ話した。職員一人ひとりがリーダーでありパートナーでありフォロワーであるということ認識して仕事をしてほしいと思っている。また、仕事を楽しんで楽しんでくださいということ話をした。楽というのは手を抜くということではなくいかに効率的にやるかということ。さらに、楽しんで楽しんで仕事をするためには健康も大事で、体の健康については周りの職員が気を使うというのは難しいかもしれないが、心の健康については周囲で気遣い合っていきたいという話をした。

都市整備局長から報告

- ・年末年始の業務としては、下水道施設の処理場やポンプ場の維持管理で、1日あたり約30名、延べ179人の職員が出勤した。その他の道路や公園関係での緊急出勤はなかった。
- ・今年の都市整備局の一番大きな変更点としては、下水道部が抜けて公営企業局の中に吸収されていく。年末に下水道関係の施設を回るとそのことに少し不安を感じている職員がいたが、一切不利益はないということを伝えた。

- ・私も退職を控えているが、健康を心がけながら、これまでどおり前向きに何にでも取り組んで行こうと思っている。

消防局長から報告

- ・大きな火災は無し。1月1日に小学校4年生の3人組が4箇所ほどで火遊びを行い、そのうち1箇所で網戸が燃えるということがあった。年間の火災件数は、前年よりも19件増加し、120件となった。放火件数は平成25年のひたくり防止撲滅宣言以降ずっと減少傾向が続いており、これまで火災原因では、放火又は放火疑いが常に1番だったが、29年に2番となった。昨年はお年寄りによるタバコの不始末が多かったように思う。また、閉じ込め救助と呼んでいるお年寄りの安否確認が年々増えている。
- ・年末年始の救急件数は1日約100件と多かった。年間の救急件数は、前年より1,200件ほど増加し、29,937件となった。
- ・毎年残念ながら懲戒処分者が出ているので、今年は誠実で市民に信頼される組織を目指して頑張っていきたい。

水道事業管理者から報告

- ・年末年始は、管路の補修、神崎浄水場の水質管理、園田配水場の運転監視業務等で水道局全体として延べ63名が出勤した。特に大きなトラブルはなかった。
- ・今年は4月に下水道部及び公営事業所と統合して公営企業局が生まれるため、より効率的な企業を目指してやっていきたい。また、10月には通水100周年記念事業を行う予定である。
- ・30年に公営審を立ち上げて32年からのビジョンを策定するため、今はその骨格作りをしている。国の方においても運営権の民間譲渡等の動きが出てきているので、この辺も含めて次のビジョンに盛り込んでいきたいと考えている。
- ・31年1月からお客様総合窓口ということで、料金課と給水装置課を包括的民間委託を行いたいと考えている。今は水道局の2階に窓口があるが、全部1階に移動し、お客様の利便に向上しようということで今詳細を詰めている。

公営事業局長から報告

- ・12月26日から12月30日まで「今年もありがとう競走」を開催し、6日間で10億7,200万円を売り上げ、1日平均1億7,800万円、前年と比較して13%の増となった。外向け発売所（サンプルピア）は、12月29日から1月3日まで毎日開所しており、12月31日の4,615万円を筆頭に1日平均2,517万円を売り上げたが、前年比99.2%で若干減となった。
- ・今年は4月から公営企業局となり、名称も組織も変わるが、収益をしっかりとあげて地域に貢献していくという我々に任されている使命は変わらない。30年度については下半期から所内の工事が本格化するため、上半期にビッグレースが集中しており、業務も集中することになるが、お客様、職員の安全を確保しながら、目標を達成できるようにしっかりと取り組んでいきたい。

議会議務局長から報告

- ・12月28日の業務時間外に、年末火災特別警戒の激励で、建設消防企業委員が各消防施設の巡回を行い、事務局の職員2名が同行した。
- ・今年から常設の議会改革検討委員会を始動する。また、予算特別委員会の中でより効率的・効果的な審査を行いしっかりとPDCAを回していけるよう、事務局としての役割をしっかりと果たしていきたい。

- ・議会事務局にもメンタルで休んだ職員がいたので、所属職員への挨拶では、ワークライフバランスの中でライフのほうを意識してバランスを取ってほしい、趣味を持ってほしいということ話をした。

教育参与から報告

- ・年末年始は休業のため6日間施設を止めているが、1月4日はスムーズに稼働した。
- ・スポーツ振興事業団は役職者定年を実施しており、若手職員の新陳代謝が図られて人材育成が急務の課題となっている。そういったことで昨年から私も講師になって人材育成に力を入れているが、若手職員といかにコミュニケーションを取るか改めて考えていきたい。

白畑教育次長から報告

- ・施設課のほうで統合校の工事が追い込みになっており、29日は小田中学校の関係で4名、養護学校の関係で1名の計5名、30日も小田中学校の関係で3名が出勤した。12月31日に大成中学校で火災報知機が誤作動を起こしたため消防車3台に駆けつけていただき、教頭が対応した。
- ・地域振興体制の再構築で、地域学校共同本部といった関係をさらに進めていく。業務執行体制の見直しで校務員業務の見直しが挙げられているので、それらを安全管理員等と一体的に見直して財政に少しでも貢献できればと考えている。中学校給食については、近々基本計画が固まるので各局にもご協力をお願いしたい。

西野教育次長から報告

- ・年末に中学校2年生の生徒が亡くなるという事件が起きて今その調査を行っている。非常に重たい事件であるので、在校している生徒たちのケアを中心に今後進めていきたいと考えている。

教育長から報告

- ・空調設備の整備は年内には終わり、来年度からはいよいよ小学校も中学校も夏休みが短縮されて8月25日からスタートするという事になっている。また、若葉西小学校と小田中学校が3月には完成する予定で、4月から新しい校舎を使う事になっている。尼崎養護学校の複合施設も今年の12月頃には完成する予定である。
- ・数年前から毎年のキャッチフレーズを考えており、今年は「ブレイクスルー・イヤー」とした。ブレイクスルーというのは「突破」というような意味で、動詞になると「雲間から光が差ししてくる」ということも意味する。教育委員会は色々課題を抱えているが、いよいよ色々な大きな計画が動き出しているところであり、雲間から光が差ししているので、そこへ向かって頑張っていきたい。

企画財政局参与から報告

- ・昨年4月から学びと育ち研究所が立ち上がり、各局から提供していただいたデータを鋭意分析しているところである。今年はそういったデータの研究結果が出始めるので、その結果を各局や教育委員会等に還元させていただき、尼崎の子どもたちの教育環境・育ちの環境をよりよくしていくために貢献していきたい。

森山副市長から報告

- ・副市長に就任してちょうど1年経ったが、昨年は各局の仕事内容を把握するという1年であったように思う。今年は後期計画も始まるし、それぞれの局が行政計画をたくさん新しく打ち出しているの、それらを一歩前に進めていく調整を行いたいと考えている。今の仕事は

縦割りにできるような状況ではなく、それぞれが絡み合っているような状況になっているので、局間の連携が円滑にいくような潤滑剤になりつつ推進役になりたいと思っている。

岩田副市長から報告

- ・各局が様々な課題を抱えているので、それぞれの部局の調整を行いながら、皆さんと一緒に頑張っていきたい。

市長から報告

- ・皆さんとともに体に気をつけて心身充実して今年 1 年頑張りたい。今年退職される方が多く少ししみりしたが、気にせず前向きな意見が多くて嬉しく思う。私も任期最後の一年になっており、たくさん宿題を抱えているが、しっかりと前を向いて進めていきたい。やはりこの皆さんのチームあつての尼崎市政だなと本当に実感しているので、今年もよろしく願いたい。

2 尼崎市公共施設マネジメント計画(方針 2 : 予防保全による長寿命化の取組)の策定について

資産統括局長から資料に基づき報告。

3 尼崎市 PPP / PFI 手法導入優先的検討方針の策定について

資産統括局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・外郭団体についてもこの方針を準用するのか。

方針は非常に理想的な形でまとめているので、実際には与えられた財源の中で優先順位を決めてやっていくことになるが、そういったことが外郭団体の資力の中で同じようにできるかという問題もある。

(市長) 学校も 10 億円以上の工事は当面ないのか。学校は対象か。

学校は対象だが、該当するものは当面ない。

(市長) まず民生活を原則に考えるという方針が国から出ている。市の実務上そんなに大きな影響が直ちに出るものではないと思うが、逆にこれの調査にばかり手間をかけるのも変なのかなと思っている。明らかに民活がふさわしいものについてはなるべくスピード感をもってやっていくという風に方針の中にも入れているので、よろしく願いたい。

4 (仮称)尼崎市住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例の制定に対する市民意見公募手続の実施について

医務監から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・許可申請の仕方はどうするのか。

国の基準ではマイナンバーカードを持っていればインターネットで申請し翌日に交付できるという風になっているが、尼崎市においては、直接保健所の生活衛生課に申請書類を持参してもらい、庁内の関係課で妥当性を検討したうえで、1 週間後に受理するという取扱をしたいと考えている。

- ・その申請方法がパブコメの資料でどこにあるのかが分からない。それがないと申請をしたい人がどうやって行政にアクセスしたらいいのかが分からない。
住宅宿泊事業法の中で届出についての記載がある。条例で定めるのは規制をするところだけになる。
- (市長) パブコメにかける際の資料では、法によって届出制が始まるということや施策策定に至った背景、問題点等をもう少し丁寧に書いたほうがよい。
- (市長) 結論から言うと、今回の条例は県と同様の規制内容にしている。規制を緩めるほどに市民生活への影響が出るので、緩めていくとなると丁寧な手続きが必要だろうと考えている。一方で、尼崎城プロジェクトも含め、インバウンドを始めとした観光地域づくりを進めていこうという時期なので、これが完成形になるかどうかは今後の状況を見ながら検討していきたいし、実際に既に何件か民泊としての実態が市内にはあるという状況なので、しっかりと現場を見ながらやっていきたいと考えている。ちなみに西宮市は厳しめの条例を予定しており、すごく期間を制限するような内容になっているようだ。

5 その他

こども青少年本部事務局長から、「子どもの育ちに係る支援センター」シンポジウムについて説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、総合文化センターの名称変更予定について説明。

企画財政局長から、総合計画審査特別委員会における各会派意見表明要旨の配布について説明。

以 上